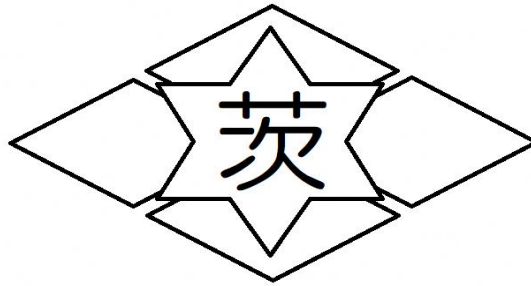


令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立茨田中学校

令和8年4月

大阪市立茨田中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

不登校生徒在籍比率については、令和6年度において大阪市平均を上回っており、本校にとって大きな課題である。今後は、不登校在籍比率の減少に向けて、スペシャルサポートルームの設置をはじめ、関係諸機関や地域、家庭との連携を一層強化し、多面的かつ継続的な支援を行うことで、中期目標の達成をめざす。

また、令和7年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」という問いに対して、肯定的に回答した生徒の割合は 86.5%であり、中期目標値である 87.0%に近い水準となっている。この結果を踏まえ、現在の取組を継続・充実させるとともに、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送り、自己肯定感や所属感を高められるような環境づくりをさらに推進していく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

ICT を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めている。年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という問いに対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合は、令和7年度は 44.0%、肯定的回答の合計は 84.0%であった。

また、令和7年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比は、国語が 0.96、数学が 0.93 であり、依然として課題が見られる状況である。これらの結果を踏まえ、今年度も授業改善を一層推進し、学習内容の定着とともに、思考力・判断力・表現力の育成を図りながら、中期目標の達成をめざす。

体力面においては、年度末の校内調査における「運動やスポーツをすることが好きですか」という問いに対して、肯定的に回答した生徒の割合は、令和7年度は 79.4%であった。引き続き、体育の授業や学校行事、部活動等を通して運動に親しむ機会の充実を図り、生徒一人ひとりの体力向上と運動への意欲の醸成に努めていく。

【学びを支える教育環境の充実】

令和7年度の学習者用端末の平均利用率(5月～3月)は 77.9%であり、「こころの天気」を含め、端末の活用は着実に進んでいる。今後は、中期目標の達成に向けて、授業における効果的な活用を一層推進するとともに、スタディサプリ等を活用した家庭学習の充実にも取り組んでいく。

また、教職員の働き方については、ストレスチェックの結果を踏まえながら、中期目標の達成に向けて、年次有給休暇の取得促進および時間外勤務の縮減を図る。そのために、会議の効率化、ICT の活用による業務改善を進めるとともに、ゆとりの日の実施や勤務時間の適正管理を徹底する。また、教職員間の協働体制の強化や外部人材の活用を図り、負担軽減と働きやすい職場環境の整備を推進する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度末の年度目標アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87.0%以上にする。

○令和11年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

○令和11年度末の年度目標アンケートの「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88.0%以上にする。

学校園の年度目標

○令和11年度末の校内アンケートの「ごみが落ちていないきれいな学校」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.0%以上にする。

○令和11年度末の校内アンケートの「一人ひとりのちがいを大切にしている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を国語および数学ともに1.00以上にする。

○令和11年度末の年度目標アンケートの「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.0%以上にする。

○令和11年度末の年度目標アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を84.0%以上にする。

学校園の年度目標

○令和11年度末の校内アンケートの「学校・家庭において正しい生活習慣を守っている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90.0%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度末の年度目標アンケートの「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を80.0%以上にする。

○令和11年度末の年度目標アンケートの「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80.0%以上にする。

○「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、令和11年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にする。

○令和11年度末の年度目標アンケートの「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を64.0%以上にする。

学校園の年度目標

○令和11年度末の校内保護者アンケートの「学校は、情報の発信を通して、開かれた学校づくりに努めている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を90.0%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和8年度末の年度目標アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.3%以上にする。

○令和8年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(R7 10.08)

○令和8年度末の年度目標アンケートの「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.1%以上にする。

学校園の年度目標

○令和8年度末の校内アンケートの「ごみが落ちていないきれいな学校」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80.0%以上にする。

○令和8年度末の校内アンケートの「一人ひとりのちがいを大切にしている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88.0%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和8年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を国語および数学ともに0.98以上にする。

○令和8年度中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。

○令和8年度末の年度目標アンケートの「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を82.0%以上にする。

○令和8年度末の年度目標アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80.0%以上にする。

学校園の年度目標

○令和8年度末の校内アンケートの「学校・家庭において正しい生活習慣を守っている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を86.0%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和8年度末の年度目標アンケートの「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を75.0%以上にする。

○令和8年度末の年度目標アンケートの「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75.0%以上にする。

○「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下にする。

○令和8年度末の年度目標アンケートの「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を68%以上にする。

学校園の年度目標

○令和8年度末の校内保護者アンケートの「学校は、情報の発信を通して、開かれた学校づくりに努めている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を88.0%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立茨田中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.3%以上にする。 ○令和8年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.1%以上にする。 学校園の年度目標 ○令和8年度末の校内アンケートの「ごみが落ちていないきれいな学校」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80.0%以上にする。 ○令和8年度末の校内アンケートの「一人ひとりのちがいを大切にしている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88.0%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向Ⅰ 安全・安心な教育環境の実現】 昨年度の、「学期Ⅰ回以上のいじめについてのアンケートの実施」「教育相談などを通して生徒理解」「いじめ案件を認知時の問題対策委員会開催」を継続しつつ、日常的な声掛けや学級経営を通じて、生徒同士の良好な人間関係づくりを推進し、いじめを「しない・させない・見逃さない」集団の雰囲気づくりを徹底する。 指標 年度末の年度目標アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.3%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向Ⅰ 安全・安心な教育環境の実現】 昨年度Ⅰ年生で不登校が増加した教訓を生かし、Ⅰ年当初から出欠状況の把握と迅速な行動対応(電話・家庭訪問等)を徹底する。遅刻・欠席が目立ち始めた生徒に対しては、早期にSSRや教育相談へ繋げ、組織的な見守りを行う。2・3年生については、改善傾向を維持するため、各機関とも連携した登校支援を継続する。 指標 Ⅰ年生の不登校比率を前年度実績より改善させる(目標:7%以下への復帰)。不登校生と全体の在籍比率を前年度実績(10.08%)以下にする。	
取組内容③【安全・安心な教育の推進】 生徒が主体的に美化活動に取り組めるように、計画的に専門委員会の活性に努める。 指標 年度末の校内調査の「ごみが落ちていないきれいな学校」の項目で肯定的な回答を80%以上にする。	

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 道徳科の授業を要とし、学校の教育活動全体で「一人ひとりのちがいを大切にする心」を育成する。そのために、道徳教育全体計画別葉をもとに道徳科と他の教育活動との連携を図る。 指標 年度末の校内アンケートの「一人ひとりのちがいを大切にしている」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88.0%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① 取組内容② 取組内容③ 取組内容④	
次年度への改善点	
取組内容① 取組内容② 取組内容③ 取組内容④	

大阪市立茨田中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○令和8年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を国語および数学ともに0.98以上にする。 ○令和8年度中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する 生徒の割合を82.0%以上にする。 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する 生徒の割合を80.0%以上にする。 学校園の年度目標 ○令和8年度末の校内アンケートの「学校・家庭において正しい生活習慣を守っている」に対して、肯定的に回答する 生徒の割合を86.0%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 グループ学習を通して話し合う中で、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付かせたりさせる。 指標 令和8年度末の年度目標アンケートの「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する 生徒の割合を82.0%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 ICT 機器を利用するなど、教材等を工夫して授業を行い生徒に意欲を持たせる。 指標 生徒アンケートでの「数学の学習はわかる」「国語の授業はわかる」という項目でそれぞれ82%以上の肯定的な回答を目指す。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ICT やペアワーク、グループワークを取り入れた英語活動を行う。 指標 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を大阪市平均以上にする。R7 59.2(市 60.3)	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 生徒一人一人の技能にあった目標を設定し、仲間と協力して意欲に取り組むことのできる環	

境作りに努める。	
指標 年度末の年度目標アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する 生徒の割合を80.0%以上にする。	
取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 来室生徒や保健だより等で、規則正しい(健康的な)生活習慣についての重要性を呼びかけ、生徒自身が自分で健康管理をできる方法を見つけさせる。	
指標 令和8年度末の校内アンケートの「学校・家庭において正しい生活習慣を守っている」の項目で肯定的回答を 86.0%以上にする。	
取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】 給食時間や教科との連携により、より良い食習慣を身に付け、食への関心を高めさせる。	
指標 令和8年度末の調査で給食全体の平均残食率を10%以下にする。 食に関する授業を教科と栄養教諭と連携し、1回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① 取組内容② 取組内容③ 取組内容④ 取組内容⑤ 取組内容⑥	
次年度への改善点	
取組内容① 取組内容② 取組内容③ 取組内容④ 取組内容⑤ 取組内容⑥	

大阪市立茨田中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を75.0%以上にする。 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75.0%以上にする。 ○「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下にする。 ○令和8年度末の年度目標アンケートの「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を68%以上にする。 学校園の年度目標 ○令和8年度末の校内保護者アンケートの「学校は、情報の発信を通して、開かれた学校づくりに努めている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を88%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】校内研修を行ったり、ICT 支援員の訪問を有効活用することで学習者端末の有効的な活用方法を共有し、授業において使いやすいツールであることを発信していく。 指標 年度目標アンケートにおいて「週3回以上」と回答する生徒の割合を75.0%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議の効率化、ICT の活用による業務改善を進めるとともに、ゆとりの日の実施や勤務時間の適正管理をおこない、年次有給休暇の取得促進および時間外勤務の縮減を図る。 指標 令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月40時間以下にする。	
取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 民生委員及び小学校との連携など地域との関係性を高める。また、ホームページ、学年通信などで学校の取り組みを積極的情報を発信し、透明性を高める。 指標 年度末の保護者アンケートの「学校は、情報の発信を通して、開かれた学校づくりに努めている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、88%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①	
取組内容②	
取組内容③	

次年度への改善点	
取組内容①	
取組内容②	
取組内容③	

大阪市立茨田中学校 令和8年度 学習指導目標(教科)

国語科

年度目標：国語への興味関心を高め、特に「書くこと」の向上に努める。

取り組み内容	評価	
① 教材等を工夫し、学校生活アンケートにおいて「国語の学習はわかる」の項目で、肯定的回答が82%を超えるように努める。		
② 単元の終わり等、定期的に文章を書く機会を設け「書くこと」への抵抗感を減らすよう努める。		
③ 定期テスト等における「思考力、判断力、表現力等」の分野の解答率が63%を超えるよう、指導の充実を図る。		

社会科

年度目標：生徒の学習意欲を高め、基礎学力の充実をはかる。

取り組み内容	評価	
① 基本的な用語の定着をはかるため、資料や視聴覚教材を活用し、学校生活アンケートで「社会の学習はわかる」の項目で、肯定的回答が全学年で85%以上を維持する。		
② 読解力や資料活用能力を育む観点から、積極的に教科書から読み取る場面を増やす。学期ごとの教科独自のアンケートで、「教科書を利用して学習した」という回答を85%以上にする。		

数学科

年度目標：自主的に学習する態度を養い、基礎学力の定着をはかる。

取り組み内容	評価	
① 数学に興味を持てるように ICT 機器等を活用し、学校生活アンケートで「数学の学習はわかる」という項目の肯定的回答を85%以上にする。		
② 各学年のチャレンジテスト対府平均を1.00にする。		

理科

年度目標：生徒の学習意欲を高め、基礎学力の充実をはかる

取り組み内容	評価	
① 生徒のまわりにある身近な例をとりあげたり、ICT 機器を活用したりすることで、理科に対する興味・関心を高め、学校生活アンケートで「理科の学習は楽しい」の項目で、肯定的回答が85%を超えるようにする。		
② 実験・観察などグループワーク等の時間を多くとりいれ、基礎学力の定着をはかり、学校生活アンケートで「理科の学習はわかる」の項目で、肯定的回答が85%を超えるようにする。		

音楽科

年度目標：学習意欲を高め、基礎的な能力の充実をはかる。

取り組み内容	評価
① 音楽活動を通じて音楽を形作っている要素を知覚させ、用語や記号、楽譜、発声法、楽器の奏法などの知識や技能を理解させ、基礎的な能力を伸ばす。	
② 合唱コンクールなどの取り組みを通して音楽活動に進んで参加させ、そのすばらしさを体験させる。互いを認め合う発表の場を、年間 3 回以上設ける。	
③ 音楽鑑賞を年間 3 時間以上行い、鑑賞を通じて、音楽の良さや美しさを幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。	

美術科

年度目標：苦手意識を取り除き、興味関心を持たせ主体的に取り組ませる。

取り組み内容	評価
① 忘れ物をなくし、授業の準備、後始末をしっかりと素早く行えるようにする。	
② 授業を計画的に進め、提出期限内に提出するように指導する。作品提出率を 85%以上にする。	
③ 課題に主体的に取り組ませるために興味関心を持たせる手立てを考え、向上心を持って授業に集中させるように指導する。自己評価カードの記入を通じて自主的に取り組む能力を育てる。	

保健体育科

年度目標：集団の一員としての責任感を育て、自己の課題に自主的に取り組む態度を育成する。

取り組み内容	評価
① 実技指導を通して、集団行動を身につけさせ、運動に親しむ心を育てる。アンケートでは、運動やスポーツをすることが好きだという項目で肯定的意見を 80%以上にする。	
② 基礎体力の向上と自己の課題と向き合い、主体的に課題に取り組む態度の育成に努める。	
③ 保健指導を通して、心身ともに健康な生活を送るための知識理解を深め、自己の健康管理のできる生徒の育成に努める。また、生命の大切さに気付かせる。	

技術・家庭科

年度目標：生徒の学習意欲を高め、自立した生活に必要な基礎知識と基礎技術の習得を図る。

取り組み内容	評価
① 技術分野・家庭分野共に、授業に意欲的に参加し、興味・関心をもって取り組んでいるかの指標として、「授業がわかる」が 75%以上の肯定的評価を得られるよう	

に、授業を工夫する。		
② 技術分野では、教科内容の知識と技能の定着を図り、その指標として、実習における82%以上の生徒の作品の完成を目指し、指導に当たる。		
③ 家庭分野では基礎知識と基礎技術の定着を図り、さらに発展させるための指標として、授業内容に併せて出す課題やレポートなどの提出率を80%以上にする。		

英語科

年度目標：生徒の学習意欲を高め、基礎学力の充実をはかる。

取り組み内容	評価
① 帯活動やグループ活動、ICT 機器を活用し、学校生活アンケートで「英語がわかる」の項目で、肯定的回答が 80%を超えるようにする。	
② 基礎学力の充実をはかるために課題等の提出率が 80%を超えるようにする。	

特別支援(インクルーシブ)教育

年度目標：「ともに生きること」を念頭に置き、生徒の「願い」に基づいた自立活動を積極的に取り組む。また、主体的な進路選択及び決定ができるように、見通しを持って家庭と学校が連携する。

取り組み内容	評価
① 「支援計画」と「指導計画」を本人と保護者と作成するとともに、合理的配慮を踏まえた支援や指導を行う。また教職員間の連携から多面的な支援や指導を行う。	
② 多面的なアセスメントから、個々の教育的ニーズを把握し、生徒本人と対話を重ねながら自立活動を計画し、実践する。そして、自己肯定感の向上につなげる。	
③ 進路選択に向けて、さまざまな情報を提供する。また、インクルーシブ教育推進スタッフの巡回等で、進路や支援体制などの相談を活用する。	

結 果 と 分 析

- 【国語科】
- 【社会科】
- 【数学科】
- 【理科】
- 【音楽科】
- 【美術科】
- 【保健体育科】
- 【技術家庭科】
- 【英語科】
- 【特別支援（インクルーシブ教育）】

次 年 度 へ の 改 善 点

- 【国語科】
- 【社会科】
- 【数学科】
- 【理科】
- 【音楽科】
- 【美術科】
- 【保健体育科】
- 【技術家庭科】
- 【英語科】
- 【特別支援（インクルーシブ教育）】